

# 東日本大震災復興応援支援チャリティーイベント

イ ケ メ ン

## 岩手 **生麺** 大集合 大分県国東市くにさきで開催！！

9月25日大分県国東市くにさきにて、地元の店舗の方々が被災地の復興応援をしようと岩手県生めん協同組合員5社から取り寄せた麺を使い趣向を凝らしたメニューで料理を提供する、SEP主催東日本大震災復興支援第3回チャリティーイベント「フード・アクションくにさき 岩手生麺大集合」を開催しました。同時開催の「第12回九州瀬戸内女子高校駅伝」には盛岡第四高校・利府高校（宮城）・田村高校（福島）が招待され、同じく東北物産展でも当組合員の冷麺も販売していただきました。

まず、このイベントが企画された経緯と、企画をしてくださったSEPをご紹介します。大分県国東市くにさきは数年前までは過疎が進む町で観光もないため日常の活気がなかったそうです。活気ある町づくり改革をする為に、企業や人、行政が繋がりを生む活動が町に活力を与え改革に前進できると思い始めたのは3、4年前。SEP代表（パシフィックブルーゴルフ&リゾート料理長）の方は、この改革を機に多くの方と出会い食を通じた地域活動に積極的に参加し、これからももっと国東の為に地域活動に貢献したいと思っていたときに起きた「東日本大震災」。津波の映像はあまりに衝撃的で毎日涙を流し、ゴルフ場業界では海外客の相次ぐキャンセルや一般客の自粛等で、一緒に働いていた従業員が失業していく現実に悲しみ、苛立ちを感じたそうです。しかし復興支援をしたくても生活ベースが崩れては何も出来ない、体力ある町づくりから長期支援を行っていこうと、東日本大震災の長期支援を支える為の町づくりを推進するプロジェクトを賛同した地元の方々とSEP（save east project）を立ち上げました。

SEPの方々は被災地の食材を使い流通を起こすことでの支援活動、また各イベントを通し地域と交流を持つことで地域が活性化することを目指し、第1回目H23年5月に福島県産のコシヒカリを使った市内飲食店での特色あるオリジナル弁当の販売「B（弁当のB）-1バトル」チャリティーイベントを企画し、国東市内のいろいろなお店のPRに貢献し、イベント終了後も交流が深まり達成感を感じたそうです。

第2回目のイベントは、被災地である岩手県の「盛岡冷麺」を題材にしたオリジナル冷麺を国東高校のJRCボランティア団体の生徒さんが調理、販売するコラボイベント「高校生レストラン」を企画。この国東高校のJRCの生徒さん達は、放課後や土日の休みも惜しまずに、独居老人・老人ホーム・幼稚園などに訪問したくさんのボランティア活動を行っており、その日常の地域活動の評価を受けH23年6月には内閣特命担当大臣より高校生で初めての表彰を受けた心温かい素晴らしい生徒さん達です。どこの麺を使うか、早速盛岡冷麺を製造している製麺所の検索をし、当組合員の小笠原製麺所が被災地でありながら精力的に支援活動をし同業者同士が励ましあい支えあっているHP掲載記事を見つけ、小笠原製麺所より冷麺を取り寄せることになりました。しかし牛肉の規定値を超える放射線量の問題により食の安全に対する不安よりあえなく断念せざるを得なくなり、急遽冷麺は違うものに切り替え、その状況の中でできる最善の策として小笠原製麺所の「あずきぱっとう」をイベントで販売をすることにしたそうです。イベント当日は大雨の悪天候にもかかわらず、高校生生徒さん達の努力で冷麺・あずきぱっとう共に完売し、SEPの取り組みに光が差し過疎地域の中の若者のエネルギーを感じたといっています。

第3回のイベントは「フード・アクションくにさき 岩手生麺大集合」に決定。このイベントは同時開催される「九州瀬戸内女子駅伝」のスタート、フィニッシュ地点となる場所で被災地から取り寄せた生めんを調理し来場者に食べていただくという企画です。第2回のイベントで繋がりのあった小笠原製麺所より組合事務局に組合員の製麺業者を紹介して欲しい旨連絡があり、早速賛同してくれる組合員を探したところ6社（うち1社は東北物産展参加）参加することになりました。今回の趣旨も物流を起こすことでの復興の支援と、食を通じて被災地地域の人々と繋がりを築くことという内容です。SEPの代表の方がイベント出店者の方々に今回使用する生めんは復興に立ち向かう現地の方々の願いや祈りがこもった大切な商品であり、温かい支援の気持ちがこの一杯の商品で表現されることを楽しみにしていますと皆さんに有難い声を掛けて下さいました。各出店者の方々の考案するメニューはとても豊富で、私達の麺が遥か遠く大分の地で大活躍してくれる期待感がどんどん溢れてくるようでした。イベントのネーミングが「岩手生麺大集合」と決定し、私どもの丹精込めてつくった麺が生麺となってイベント当日に向けて着々と準備を始めました。そして迎えた当日は晴天で、「フード・アクションくにさき 岩手生麺大集合」は大盛況で、準備した料理は完売、九州瀬戸内女子駅伝も東北物産展も成功裡に終了したそうです。

今年度のSEPの活動はこれで終了したそうですが、これからも早期復興支援に取り組み、国東を元気にする活動を続けて行きたいと代表の方の言葉でした。イベント終了後もこちらの麺を使ったメニュー化や、継続した麺の購入の声掛けをしていただいているようで、心より感謝しております。

震災後いろいろな方から個別に復興応援の麺の購入をしていただいた経緯はありましたが、組合全体としての復興応援を受けたのが初めてで若干の不安もございましたが、イベントが大成功に終わり、組合員同士の繋がりが深くなったことと、復興を支援応援して下さる方々との交流が持てたことへの喜びをしみじみと感じています。

岩手県沿岸地域は津波で甚大な大きな被害を受け、まだまだ支援を必要としていますが、内陸の私達はいつもと変わらない普段どおりの生活をしています。遠く離れた大分の方々や、復興を応援して下さる方々と同じように私達も復興支援応援をこれからも頑張って続けて参ります。

企画を実行して下さいました、SEP会員の方々と代表の中園様、国東市の皆様へ心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。皆様の今後ますますのご発展とご健闘を岩手よりお祈りいたします。

平成23年10月7日  
岩手県生めん協同組合  
事務局 萩原 とも子

9/25 イケメン大集合での国東市の出店者の方々と麺の提供組合員名

出店店舗名（大分県国東市）	メニュー	麺の提供組合員名（岩手県）
パシフィックブルーゴルフ&リゾート	鹿肉のじゃじゃ麺	マルジュウ製麺所
料亭 白浪	極上海鮮塩ラーメン	(株)中野製麺
梅園の里	海鮮とんこつラーメン	古館製麺
海六呼	天使の海老天カレーうどん	(有)阿部製麺
美浜	たこチャンポン	古館製麺
シーサイド大沢	鹿そぼろの山掛けそば	古館製麺
味ぶん	ちゃんぽん	マルジュウ製麺所
トラットリアステイーレ	むぎかけのラザニア風	古館製麺
牛将	盛岡冷麺	(株)川喜
志まる	姫だこ瓦そば（茶そば）	(有)阿部製麺
川口屋	五目鴨そば	(有)阿部製麺
里の駅むさし	有機野菜の冷やしうどん	(有)阿部製麺
SEP	広島風お好み焼き	(株)川喜
大分空港	東北物産展	(株)丸勘商店、盛岡冷麺

当日の様子（画像はSEP会員えこじろーさんのブログより使わせていただきました）



岩手ではお会いしたことの無い通称  
ひまわり男爵



さすが九州、ちゃんぽん美味しそう  
ですね^^



未来の国東をしょって立つ、国東  
高校JRCのメンバー



茶そばを使った姫だこ瓦そば・・・ど  
んな味だろう、食べて見たい・・・



極上海鮮塩ラーメンとシカ肉のじゃ  
じゃ麺。岩手では味わえない一品！



盛岡冷麺・・・本場の冷麺、皆さん絶  
賛だったそうです。

SEPのブログ

<http://ameblo.jp/saveeastproject/entry-11030826290.html>

えこじろーさん（SEP会員）のブログに当日の画像がたくさん載っていました

<http://ameblo.jp/eco530/entry-11029982809.html>